



YAMATO-NAKA ROTARY CLUB

1663号

会長	横澤 創	会長エレクト	岸 幸博	事務所	大和市大和南2丁目1番1号
副会長	松崎正実	幹事	入江公敏		大和中央ビル 301
会報委員会	小柳智裕	阿萬正巳	後藤定毅		TEL 046-262-1717 FAX 046-262-1818
	古郡 清	石川達男			E-mail : naka-office@ynrc.jp
例会場	八千代銀行 大和支店 4F (毎週木曜日)				URL : http://www.ynrc.jp

国際ロータリーテーマ

Peace Through Service

「奉仕を通じて平和を」

RI会長 田中作次

大和中ロータリークラブ会長ターゲット

週一度 みんなに会える 楽しみ

【本日のプログラム】 3月14日 卓話「ロータリーの点と線」第2590地区パストガバナー 川野 正久 様
 【次回予告】 3月21日 会員卓話「地区だより」 館盛 道明会員、石川 健次会員

【第1658例会】平成25年3月7日(木) 【司会SAA】 飯田 豊太 君
 【斉唱】「君が代」「我らの生業」 【ソングリーダー】 藤田 方巳 君
 【ゲスト】 斉忠良 様(米山奨学生)

会長の時間 横澤 創 会長

米山奨学生 斉 忠良君がお見えです。ので、奨学金をお渡します。



毎年恒例のIMが、2月24日、座間クラブのホストで開催されました。次年度は大和中クラブがホストです。2014年2月9日(日)にホテルオークラフロンティア海老名で開催いたします。

さて、今回のIMは、開会式のセレモニーから始まり、JAXA 川口 淳一郎教授による「はやぶさがもたらした、人と組織の活性化」というテーマの特別講演がありました。第三部では「クラブ活性化アクションプラン」のテーマで、壽永 純昭ガバナー補佐がコーディネーターとなり、9クラブがそれぞれの取り組みを発表されました。その後、閉会式セレモニー、懇親会と続き、6時間に亘る濃密な会合の幕を閉じました。

川口教授の講演は、素晴らしいものでした。はやぶさに感情移入した、けなげな涙の物語かと思っていましたが、そうではなく、冷静で、示唆に富んだ科学者の話でした。ロータリーにも通じる至極の言葉を二、三紹介します。

「世界一を目指すには、やれる理由を探して挑戦しない限り、成果は決して得られない。やれない理由はたくさん見つかるが、そこで尻込みしては一步も前へ進まない」「教科書に書いてあることはすべて過去であり、そこから新しいひらめきは生まれない。受身で学ぶことで安心せず、自分を発信して挑戦せよ」「発想は現場にあり。世界初の発想は現場で意見を戦わすことから生まれる」

徹底した現場主義者で、はやぶさの世界初の数々の技術は現場でのブリーフィングから生まれたものだそうです。そして、難局を乗り越えた究極の技術は、現場のアイデアであったそうです。

討論会はテーマを絞り込めず、総花的な発表が多かったように思います。その中で、岸 幸博会長エレクトの発表は聴く者の心をつかみました。

長く商店会の活性化に携わってきた岸エレクトは、「阿波踊りやお祭り等、色々なイベントを仕掛けた。しかし、120店舗あった商店会が50店舗になってしまった現実は、失敗と言わざるを得ない。固定化した人間が長く携わると、活性化の妨げとなる。携わる人間をどんどん入れ替えなければ、新しい発想も知恵も生まれて来ない。組織の活性化は、人材の活性

会員数	出席者	出席率	前々回修正	出席免除	欠席者 4名(敬称略)
42名	37名	90.24%	86.42%	6名	阿萬、小柳、中西、梅野

化のみで成し遂げられるもの」と喝破していました。川口教授の話と相通じるものを感じました。

そして、「35年たった我がクラブは、いまだ発展途上であり、活性化している最中である」と結びました。説得力のある素晴らしい発表でした。

川口教授の話に「大才は、袖振り合う縁も大縁にする」とありました。

我がクラブから31名の会員が出席されました。このIMで31名が経験した「袖振り合う縁」を大きな縁に育て、我がクラブがホストする2014年IMを、今年を超えるIMにしようではありませんか。

幹事報告 入江 公敏 幹事

第45回神奈川県ロータリアン親睦テニス会(上野杯)のご案内が来ております。

第8回理事会【審議事項】

- ①1月までの予算の執行状況承認。
- ②GSE支援について承認。
- ③奉仕プロジェクト、フィリピン救急車贈呈に伴う諸費用について承認。

【協議事項】

- ①次年度交通安全教室の開催を次年度12月8日(日)、大和3クラブ共催で行います。
- ②次年度しらかし会をご招待して行う地引綱は11月10日(日)の予定。
- ③5月9日創立35周年記念移動例会について。
- ④2月28日夜間移動例会について。
- ⑤4月11日職業奉仕ブリッジストーン小平工場企業訪問について。
- ⑥4月18日東慶州RC訪日について。
- ⑦(R35)青少年育成基金の取り扱いについて。
- ⑧(R35)高齢化への対応について。
- ⑨(R35)会計の問題点。
- ⑩IT化に伴う業者との契約について。

委員会報告

クラブ研修リーダー 後藤 定毅 会員

「ロータリーの綱領」の英語版と日本語訳をお配りしました。ロータリーの友1月号にこの内容の記事が載っていますが、「ロータリーの綱領」が「ロータリーの目的」というように変更されました。近々全ての印刷物もこの表現になりますが、英語の原文は変わらず日本語訳だけの変更ですが、日本語の表

現が変わりにくいというのが理由だそうです。

比較して見て戴いてどれほど分かりやすくなったかかもしれませんが、若い人にも理解しやすいようにとの意味があるようです。しかし聞くところによると、若い人の集まりである青年会議所では、今も「綱領」と言っているようですから、「綱領」が「目的」に変わることも含め、今回のこの改定に意味があるのか、みなさん個々に感じ取って戴くことでしょうか。ただ以前からこの綱領に「業務」とあった表現を「職業」に変えたという改正は、永年上田会員もこれを主張されて来たところでもあり、一業種一人制の「職業」を誇りにするロータリークラブとしては、日本語の響きを含め品格が上がったというべきなのかもしれません。

新「ロータリーの目的」

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある：

- 第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること；
- 第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること；
- 第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること；
- 第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

お祝いの方々

親睦活動委員会

藤田 方巳 委員

会員誕生日	横澤 創 君	3月5日
	神作 彰 君	3月6日
創業記念日	古郡 清 君	3月1日
	飯田 豊太 君	3月4日
	横澤 創 君	3月8日
	竹内 彰 君	3月9日
入会記念日	石川 達男 君	3月1日
	橋本 吉宣 君	3月1日
	神作 彰 君	3月3日
	岸 幸博 君	3月4日

イニシエーションスピーチ

竹内 彰 会員

出生は長野県松本市です。

その後は父親の仕事の関係から、幼稚園2園、小学校4校(出戻り1校)、中学校2校と波乱にとんだ少年時代を過ごしました。

幼稚園の入園式はお寺の本堂、卒園式は教会でした。

転校生へのいじめは当初から少なからず存在しましたが、今のようないじめではなく、よそ者を阻害する事がいじめである様に感じました。

幸い、背も高く、運動能力に少しだけ自信があったので、体育の時間に目立つ事で回避して行く事ができました。

中学校での転校は高校入試を控えて、教科書の進み方が全く違ったため非常に戸惑いましたが、高校、大学生活を迎えて漸く落ち着きました。

就職先を決めるに当たっては、自分のような経験はやはり自分の子どもにはさせたくないため、転勤が無い会社への就職を希望しました。

「コーチング論について」 竹内 彰 会員



会員卓話

「コーチング」は、目標達成やパフォーマンスの向上を目指して、対象者を勇気付け、やる気を引き出

し、自発的な行動を促すコミュニケーションスキルです。具体的には、質問を投げ掛け、考えてもらうことによって取るべき行動を明らかにする手法です。

インターネットを始めとする情報伝達技術の著しい進歩により、今までとは比べられないような質、量の情報が、考えられないようなスピードで降りかかるとともに、その情報は多様化・複雑化しております。同時にこのような環境の変化についていくためには、教える側、教えられる側双方が取るべき対応も多様化・複雑化しており、従来と同じ考え方ややり方では答えを出すことが難しくなっております。

従来の指導方法のように、経験を積んだ人が、経験の乏しい人に、自らの経験に裏付けされた指導方法では、現代社会の多様化・複雑化した状況に対応することはできなくなっております。

多様化・複雑化している人の気持ちをお互いに理解する過程で発揮されるコミュニケーションスキルがコーチングであると思っております。

卓話の内容は下記よりダウンロードできます。



<http://sdrv.ms/WIOJJo>

梅の花のマイタクト
藤田 方巳 会員

スマイルボックス 岸 幸博 委員長

本日 ¥9,000 累計 ¥618,670

横澤 創 会長・入江 公敏 幹事

斉忠良君、ようこそいらっしゃいました。花のつぼみもふくらんでやっと春めいてまいりました。ただし花粉症や気温の変化が大きいです。体調管理には気をつけましょう。さて本日の会員卓話は竹内会員です。どうぞ宜しくお願い致します。

横澤 創 君

- ①誕生日のお祝い、ありがとうございます。
- ②創業記念のお祝い、ありがとうございます。

神作 彰 君

誕生日のお祝い、ありがとうございます。

飯田 豊太 君

創業記念日のお祝い、ありがとうございます。不動産のナンバーも9番になりました。

古郡 清 君

創業記念日のお祝い、ありがとうございます。燃料の値上がりなど、とりまく環境は厳しいですが、どうにか続いています。

中島 康次郎 君

3月10、11日に昨年同様、東日本大震災の供養を行います。10日には玉川学園のハンドベルを行います。他にもポスター展、松竹映画の「遺体」の案内もあります。会場の案内のポスターを入口のテーブルに置きましたのでご覧下さい。

岸 幸博 君

入会記念日を祝って頂き、ありがとうございます。

ロータリーの慣例について①

第一に、「一業一会員制」。

第二に、「クラブ内における政治上および宗教上の論争の禁止」。

第三に、「会員相互をファーストネームで呼び合うこと」。

第四に、「会務に対する互譲の精神」。

第五に、「テーブルスピーチ（卓話）をすること」。

第六に、「歌を歌うこと」。

第七に、「出席を旨とすること」。

第八に、「会合の時間を厳守すること」。

最後に、「例会で食事を共にすること」等々です。まだまだあるかもしれませんが、ここに挙げた慣例は、それぞれ先人ロータリアンのクラブに対する叡智が凝縮されていて、さらにその後の人々の努力によって熟成されたものです。

まず第一の「一業一会員制」ですが、これはクラブ活動の中に、少しでも紛争の種子を持ちこむような要素を排除しようとした努力の産物で、日常の激しい職業上の闘いの世界の中で、お互いに争わなければならない個人個人が、これとは全く基盤を異にする家族的、肉親的、友情的交友の場を共有するためには、一つの職種から一名の会員しか入会させなければいい、同じ職業だから摩擦が起こる、職業が違えば、補い合いこそすれ、摩擦を起こす必要もないと考えたのです。

第二の「政治上宗教上論争の禁止」ですが、本来ロータリーは、参加する人の政治理念や宗教的信条を問題にするのではなく、むしろ各人の心を大切にすることがゆえに、親睦の場でそれらに関する「論争」を禁止したわけです。

第三に「会員はお互いにファーストネームで呼び合うこと」ですが、外国では、ファーストネームを呼ぶということは、親しさを表すものであり、また童心にかえって心おきなく話し合う雰囲気をつくりだすうえに、大変有効であるということです。この「心おきなく話し合える雰囲気」が出来ると、「他人の立場に立って物事を考える」というロータリアンの土壌が、自然に醸成されたのだとされています。

第四の「会務互譲の精神」ですが、役員理事や委員長に選ばれるということは、本人にとってはロータリーを勉強することになり結構なことですが、逆にこれが固定化するといろいろ弊害が起こってきますので、特殊な事情がない限り全ての役職は、一年で交代する、そして会務の担当に「NOがない」ということは、問題もあるかもしれませんが、卓見であり、ロータリー発展の基になったとも言われています。

《<続>》